

自然言語処理を考慮したインドネシア語文型パターン

Hartono 田中 穂積

東京工業大学

概要

インドネシア語の文型は、「主語+動詞+目的語」の型をしており、英語の文型に類似するところが多い。しかし、動詞型によって文型の説明が付く英語に対して文の中に必ずしも動詞が存在するとは限らない。インドネシア語は、動詞型だけでは文型を説明することができない。また、接辞を有力な文法要素としているインドネシア語は三十種類以上の接辞を所有している。その中で動詞を構成できる接辞は十種類以上にのぼる。本報告では、まず接辞を考慮したインドネシア語の動詞パターンを提案する。自然言語処理における解析を容易にすることを考慮してこれらの特徴を持つインドネシア語の文型について記述する。

An Indonesian Sentence Pattern
for
Natural Language Processing

Hartono Hozumi TANAKA

Tokyo Institute of Technology

Abstract

The aim of this report is to describe the Indonesian sentence pattern for natural language processing. To mention the particular features, in appearance, the Indonesian sentence types are much similar to the English one. The Indonesian sentence patterns, however, can not be explained only by the verb types as the English can be done so. And we have more than 30 kinds of affixes which are deemed grammatically significant. In this report, we describe the sentence pattern by considering the analysis simplification in natural language processing and also define the verb pattern by studying the kinds of affix which made up the verb.

1 はじめに

多民族社会であるインドネシアは300以上の種族が存在するとされている。話される言語(方言ではない地方語)も300種類以上に及んでいる。インドネシア語は、1928年の「青年の誓い」の中に正式にインドネシアの国語として地位を得た。インドネシア語と呼ばれる以前は「マレイ語」というインドネシアで話されている地方語の一つにしかすぎなかった。各地の地方語の存在で必ずしもインドネシア全土に普及しなかったインドネシア語は1945年の独立宣言以後インドネシア全土の学校で教えられるようになり、急速に広がった。以来インドネシア語は公用語、民族間の伝達用語となり、発展してきた。インドネシア語はその発展の経緯からみればまだ若い。そのためか、インドネシア語にない概念の単語が他の言語から多く取り入れられている。

インドネシア語は接辞を有力な文法要素としていることから言語の形態的分類上からはこう着語に属しているといわれている。原形の話(以下「素語」と書く)が接辞の付加によってその素語の品詞及び意味を変えることがある。例えば、接頭辞 *di* が素語 *makan*(食べる)に付加すると受け身の *dimakan*(食べられる)となり、素語 *makan* と接尾辞 *an* から名詞の *makanan*(食べ物)が構成される。

- *makan* (食べる)
- *dimakan* [接頭辞 *di* + 素語 *makan*] (食べられる)
- *makanan* [素語 *makan* + 接尾辞 *an*] (食べ物)

また、インドネシア語は時制を持たない。発話された文によって表されるイベントがいつ起きたかを伝える手段としては文の中に時間的副詞を入れるかまたはアスペクトマーカを使う。例えば例文(1),(2)では、イベントが時間は過去でも未来でも取れるが、*saya datang dari Indonesia tahun lalu* (私は昨年インドネシアから来た)では、時間的副詞 *tahun lalu*(昨年)でイベントが過去で起きたことを表す。*Mereka telah mengirimkan saya buku* (彼らは(すでに)本を送ってくれた)。アスペクトマーカ *telah* (「イベントがすでに終わったことを表す」)で文が過去であることを表現する。もし文にこれらの時間的副詞・アスペクトマーカなどが陽に表現されていなければ、その場合は文脈で判断しなければならないであろう。

インドネシア語の文型は、「主語+動詞+目的語」の型をしている。英語の文型に類似する。

1. *Saya datang dari Indonesia.*
(i) (come) (from) (Indonesia)
2. *Mereka mengirimkan saya buku.*
(they) (send) (i) (book)

[訳] (1) わたしはインドネシアから来た。(2) 彼らは(私に)本を送ってくれた。

インドネシア語の動詞パターンを考えると英語の動詞パターンに類似するところは多いが、本稿では接辞を考慮してインドネシア語の動詞パターンを提案するとともに、自然言語処理における解析が容易になるように考慮してインドネシア語の文型

について記述する。

2 動詞型

接辞を有力な文法要素としているインドネシア語には三十種類以上の接辞がある。インドネシア語の接辞には接頭辞、接尾辞に加えて複合辞(接頭辞と接尾辞の組合わせでできた接辞)がある。このうち動詞を構成する接辞には、接頭辞として *meN-*, *ber-*, *di-*, *ter-*, *memper-*, *diper-* があり、接尾辞として *-kan*-, *-i* がある。また複合辞には *meN-kan*, *meN-i*, *di-kan*, *di-i*, *ter-kan*, *ter-i*, *ke-an*, *peN-an*, *ber-an* がある。

membaca [*meN* + *baca*(読む)] (読む)
belajar [*ber* + *ajar*(教える)] (勉強する)
dibaca [*di* + *baca*(読む)] (読まれる)
terbawa [*ter* + *bawa*(持つ)] (持っていられる)
mempertinggi [*meN* + *per* + *tinggi*(高い)] (高くする)
diperbesar [*di* + *per* + *besar*(大きい)] (大きくされる)
menerangkan [*meN* + *terang*(明るい) + *kan*] (説明する)
menyakiti [*meN* + *sakit*(痛い/病気) + *i*] (傷つける)
dikembalikan [*di* + *kembali*(返す) + *kan*] (返される)
didatangi [*di* + *datang*(来る) + *i*] (こられる)
terpenuhi [*ter* + *penuh*(一杯) + *i*] (満たされる)
kehujan [*ke* + *hujan*(雨) + *an*] (雨に降られる)
pembulatan [*pe* + *bulat*(丸い) + *an*] (丸くする)
berlarian [*ber* + *lari*(走る) + *an*] (走る)

接辞を考慮することにより動詞は二種類に分けられる。接頭辞 *meN-* が付加された動詞とそれ以外の動詞である。

接頭辞 *meN-* を付加した動詞を以下の三つに分類する。

(1) 自動詞

受動態に変換不可能かつ目的語を取らない動詞。

3. *Dia menangis* (彼は泣く)

(2) 他動詞

目的語を取り、受動態に変換可能な動詞。

4. *Dia membeli sayur* (彼は野菜を買う)

(3) 自他動詞

自動詞または他動詞として利用可能な動詞。

5. *Dia membangun (rumah)* (彼は(家)を建てる)

接頭辞 *meN-* が付加されていないもの以外の動詞は目的語を取らなくて受動態に変換不可能な自動詞に属す。素語のみの動詞と接辞(接辞 *meN-* を除く)が付加した動詞も自動詞に属し、補語を取るもの、取らないもの、取っても取らなくてもよいものに分類される。

6. *Dia pergi* (彼は行く)

7. *Dia minta cuti* (彼は休暇を取る)

8. *Dia makan (pisang)* (彼は(バナナ)を食べる)

9. *Dia bernyanyi* (彼は歌う)

10. *Dia bermain (tennis)* (彼は(テニス)を楽しむ)

11. *Dia bernama Anton* (彼はアントンと呼ぶ)

12. *Dia terjaga* (彼は起きた)

13. *Dia kedinginan* (彼は寒さにやられた)

14. *Rumah itu kemasukan pencuri*

(あの家は泥棒に入られた)

(斜字体の単語は動詞。(6)~(8)は素語のみの動詞,(6)(9)(12)は補語を取らないもの,(7)(11)(14)は必ず補語を取るもの,(8)(10)は補語を取っても取らなくてもよいもの)

主語 + **KK1** + 名詞(句)
 主語 + **KK2** + 名詞(句) + 動詞(句)
 主語 + **KK3** + 名詞(句) + 形容詞
 主語 + **KK4** + 名詞(句) + **sebagai** + 名詞(句)
 主語 + **KK5** + 名詞(句) + **dengan** + 形容詞
 主語 + **KK6** + 名詞(句) + 前置詞 + 名詞(句)
 主語 + **KK7** + 名詞(句) + **untuk** + 動詞(句)
 主語 + **KK8** + 名詞(句) + 名詞(句)
 主語 + **KK9** + 名詞(句) + 節
 主語 + **KK10** + 従属節/従属疑問
 主語 + **KK11** + **bahwa** 節
 主語 + **KK12**
 主語 + **KK13** + 名詞(句)
 主語 + **KK14** + (**dengan**) + 形容詞
 主語 + **KK15** + 副詞的修飾語
 主語 + **KK16** + **sebagai** + 名詞(句)
 主語 + **KK17** + 動詞(句)
 主語 + **KK18** + 前置詞 + 名詞(句)
 主語 + **KK19** + **untuk** + 動詞(句)
 主語 + **KK20** + **bahwa** 節
 主語 + **KK21** + 疑問節
 主語 + **KK22** + 名詞(句) + **kepada** + 名詞(句)

表 1: 動詞型

以上の動詞の区別を考慮して動詞型を以下のように分類する。動詞型は受動態に変換可能と変換不可能の二種類の動詞に分ける。前者は接頭辞 *meN-* が付加しており、目的語を取る動詞型であり、上記の他動詞と自他動詞がこれに属す。これに対して後者は目的語を取らないが補語が付くことがあり、上記の他動詞以外の動詞はこれに属す。これらによって分類された動詞型は表-1で示す。

KK1¹ ~ **KK11** は受動態に変換可能な動詞型、**KK12** ~ **KK22** は受動態に変換不可能な動詞型である。

さらに、前置詞の役割を考慮して表-1の(**KK6**)と(**KK18**)の「前置詞 + (名詞句)」は以下の種類に分けることにする。

- (a) ~+ **akan** + 名詞(句)
- (b) ~+ **antara** + 名詞(句)
- (c) ~+ **atas** + 名詞(句)
- (d) ~+ **bagi** + 名詞(句)
- (e) ~+ **buat** + 名詞(句)
- (f) ~+ **dalam** + 名詞(句)
- (g) ~+ **dari** + 名詞(句)
- (h) ~+ **daripada** + 名詞(句)
- (i) ~+ **dengan** + 名詞(句)
- (j) ~+ **demi** + 名詞(句)
- (k) ~+ **di** + 名詞(句)
- (l) ~+ **ke** + 名詞(句)
- (m) ~+ **kepada** + 名詞(句)
- (n) ~+ **pada** + 名詞(句)
- (o) ~+ **sama/bersama** + 名詞(句)
- (p) ~+ **tentang/mengenai/perihal** + 名詞(句)

¹ **KK** は *Kata Kerja* (動詞) の略である。

- (q) ~+ **terhadap/kehadapan** + 名詞(句)
- (r) ~+ **untuk** + 名詞(句)

(a) **akan** : 前置詞としての **akan** は方向を指示する前置詞 **ke** と同じであるが、場所を指す前置詞 **ke** と違って後にくる名詞(句)が場所以外のことを指示する。

(b) **antara** : 「～の間」の意味を持ち、後にくる名詞(句)は複数名詞(句)か並列名詞(句)である。

(c) **atas** : **di atas, ke atas, dari atas** 等の他の前置詞との組み合わせで利用されると前置詞 **di, ke, dari** と同じように後にくる名詞(句)は一般に場所を指すが、抽象名詞がくることもある。

(d) **bagi** : 「～のために」の意味を持ち、後にくる名詞(句)は有意志体である。

(e) **buat** : 後につづく名詞(句)は「意志」「効用」を指示する名詞である。

(f) **dalam** : 前置詞 **di dalam** と同じ意味を持ち、同じ使い方をするが、後につづく名詞(句)が場所を指示するものだけである前置詞 **di dalam** に対して、本型はそれに加えて時をも指示できる。

(g) **dari** : 前置詞 **dari** は「～から」の意味を持つ。一般にこの前置詞の後につづく名詞(句)は場所を指す。この型に属す他の前置詞は **dari atas**(～の上から), **dari bawah**(～の下から), **dari depan**(～の前から), **dari samping**(～の横から), **dari sebelah**(～の隣から)等がある。

(h) **daripada** : 一般にものの根源を指示する。後につづく名詞(句)は物質の名詞である。ものを比較する時も使う。

(i) **dengan** : 一般に後にくる名詞(句)は道具類が多いが有意志体もある。

(j) **demi** : 前置詞 **untuk** と同じ「～のため」の意味を持ち、後にくる名詞(句)は有意志体を指すことが多い。

(k) **di** : 前置詞の後にくる名詞(句)は場所を示すものでなければならない。前置詞 **di** の他に, **di atas**(～の上に), **di bawah**(～の下に), **di dalam**(～の中に), **di luar**(～の外に), **di depan**(～の前に), **di belakang**(～の後に), **di sebelah**(～の隣に)等もこの型に属す。

(l) **ke** : この型の前置詞の後にくる名詞(句)の性格も上の(k)と同様場所を示す名詞以外は使えない。また前置詞 **ke** の他に, **ke atas**(～の上へ), **ke bawah**(～の下へ), **ke dalam**(～の中へ), **ke luar**(～の外へ), **ke depan**(～の前へ), **ke sebelah**(～の隣へ)等もこの型に属す。

(m) **kepada** : 前置詞 **ke** と **pada** でできた前置詞である。場所を指示する前置詞 **ke**(l)に対して、本型は前置詞の後につづく名詞(句)が時間か人間を指す。

(n) **pada** : 基本的に型前置詞 **di**(k)と同じ役割を持つが、後にくる名詞(句)が場所を指示する前置詞 **di**(k) に対してこの前置詞の場合は時間、数字と有意志体を指す。

(o) **tentang/mengenai/perihal** : 「～について」の意味を持ち、後にくる名詞(句)はその内容を指すものになる。

(p) **terhadap** : 「～に対して」の意味で、方向を指示するが、前置詞 **tentang** と同じ使い方をとする。

(q) **untuk** : 「～のために」の意味を持ち、後にくる名詞(句)は有意志体である。基本的に前置詞 **bagi** と同じであるが、本型は「目的」を指示するのにに対して前置詞 **bagi** は指示しない。

以下では上で記述した表-1の動詞型について詳しく説明する。

● KK1は名詞(句)が目的語となる動詞型である。本動詞は以下の三種類の動詞に代表される。

(1) 接頭辞 **meN-** + 素語

素語は動詞または名詞

(2) 接頭辞 **meN-** + 素語 + 接尾辞 **-i**

素語は動詞, 名詞または形容詞

(3) 接頭辞 **meN-** + 素語 + 接尾辞 **-kan**

素語は動詞, 名詞または形容詞

BK1² は時・頻度・期間などの修飾語に伴われることがある。

BK1

主語 + KK1	名詞(句)
15 Ibu menyapu	halamannya setiap pagi.
16 Dia sering membaca	majalah.
17 Jeruk mengandung	banyak vitamin C.
18 Dia membeli	buku kemarin.
19 Kakak menggoreng	kerupuk udang.
20 Adi sedang mencari	pinsilnya yang hilang.
21 Pagi tadi dia melukai	temannya.
22 Jepang menjajahi	negara-negara tetangganya.
23 Siang malam Susi memerangi	penyakitnya.
24 Dia tidak menyalakan	lampu itu.
25 Tekanan batin dapat menimbulkan	berbagai penyakit.
26 Mereka mementaskan	tarian Jawa tengah.

[訳] (15)母は毎朝庭を掃除する。(16)彼はよく雑誌を読む。(17)みかんは多くのビタミンCを含んでいる。(18)彼は昨日日本を買った。(19)お姉さんがえびせんべいを揚げている。(20)アディさんは無くした鉛筆を捜している。(21)今朝彼は友達をけがさせた。(22)日本は近隣国を侵略した。(23)スシさんは日夜病氣と戦っている。(24)彼は火をつけなかった。(25)ストレスは多くの病氣のもととなる。(26)彼らは中央ジャワの踊りを舞台化した。

(15)~(17)は自他動詞。(18)~(20)は接頭辞 **meN-** のみの他動詞。(21)~(23)と(24)~(26)はそれぞれ **meN-** + **-i** と **meN-** + **-kan** の他動詞。文型的に同じでも意味的に相違する KK1の動詞もあることに注意する必要がある。

27. Saya mendatangi dia.(私は彼(の所)に行く)

28. Saya mendatangkan dia.(私は彼をこさせる)

この例では接尾辞 **-i** と **-kan** の違いで動作に対する目的語の役割が違ってくる。(27)は「私は彼を訪問する(彼の所に行く)」に対して(28)は「私は彼をこさせる(彼が私の所にくる)」である。このような動詞は動詞型 KK6によってもっとはっきりさせることができる。

★ 29. Saya mendatangi dia dari Jakarta.

30. Saya mendatangkan dia dari Jakarta.

(私は彼をジャカルタから連れてきた)

両動詞を動詞型 KK6で考えた場合に KK6g の型を持つ **mendatangkan** に対して **mendatangi** はこの型には適応できない。

²BK は Bentuk Kalimat (文型) の略である。

● KK2は目的語となる名詞(句)の後に動詞(句)を伴う動詞型である。

BK2

主語 + KK2	名詞(句)	動詞(句)
31 Dia membawa	adiknya	pergi ke sekolah.
32 Dia membiarkan	adiknya	menangis.
33 Dia mengantarkan	temannya	pulang.
34 Ibu menyuruh	Amat	mengantarkan hadiah itu.
35 Dia membantu	pak guru	menghapus papan tulis.

[訳] (31)彼は弟さんを学校に連れて行った。(32)彼は弟さんが泣いているのをそのままにしておく。(33)彼は友達のを送り送る。(34)お母さんはあのプレゼントを届けるようにアマッさんに頼んだ。(35)彼は先生を手伝って黒板をきれいにした。

● KK3は目的語となる名詞(句)の後に形容詞がつく動詞型である。

BK3

主語 + KK3	名詞(句)	形容詞
36 Ia mencat	rumahnya	merah.
37 Ibu memotong	wortel	tipis-tipis.
38 Kami mengharapkan	abangnya	baik-baik.
39 Adik membuat	mereka	senang.

[訳] (36)彼は自分の家を赤く塗った。(37)お母さんは人参を薄く切る。(38)私たちは兄さんが元気であるように望んでいる。(39)弟さんは彼らを喜ばした。

● この型では、動詞 KK4の後に目的語となる名詞(句)について **sebagai** と名詞(句)がつづく。

BK4

主語 + KK4	名詞(句)	sebagai 名詞(句)
40 Guru memperlakukan	kami	sebagai manusia dewasa.
41 Ia menggunakan	bambu runcing	sebagai senjata.
42 Mereka memilih	tari-menari	sebagai hobi.
43 Dia menganggap	nenek itu	sebagai ibunya.

[訳] (40)先生はわれわれを大人として扱っている。(41)彼は竹槍を武器として使っている。(42)彼らは趣味として舞踊を選んだ。(43)彼はあのお婆さんをお母さんだと思っている。

● KK5では、動詞の後に目的語となる名詞(句)と形容詞がつく。

BK5

主語 + KK5	名詞(句)	前置詞 + 形容詞
44 Dia membaca	buku	dengan cepat.
45 Petani mengerjakan	sawahnya	dengan tekun.
46 Adik menjemput	kakak	dengan gembira.

[訳] 44 彼は素早く本を読む。45 お百姓さんはまじめに畑仕事をする。46 弟さんは喜んで姉さんを迎える。

● KK6は目的語となる名詞(句)の後に前置詞句が導く。

BK6

主語 + KK6	名詞(句)	前置詞+名詞(句)
47 Hal itu memperingatkan	kita	akan bahaya komunis.
48 Kita harus memperkecil	jurang	antara si miskin dan si kaya.
49 Mereka mengadakan	diskusi itu	atas kehendak masyarakat.
50 Murid itu mengambil	kapur	bagi gurunya.
51 Dia mengunjungi	Japan	dalam rombongan Presiden.
52 Dia mengeluarkan	dompet	dari saku dada.
53 Polisi menembak	penjahat	dengan pistolnya.
54 Aku mendapati	gambaranya	di dinding.
55 AS meluncurkan	roket	ke bulan.
56 Ia menghadapkan	mukanya	kepadaku.
57 Ia mengikatkan	tali itu	pada pohon.
58 Mereka tak mengetahui	perasaanku	terhadap dia.
59 Mereka mencari	pekerjaan	untukmu.

[訳] (47) あのことは共産主義者の危険についてわれわれに警告してくれた。(48) われわれは貧困者と金持ちの間のギャップを小さくするべきだ。(49) 彼らは社会の要望であるの討論を行った。(50) あの生徒は先生のためにチョークを取ってあげた。(51) 彼は大統領団の一員として日本を訪れた。(52) 彼は胸のポケットから財布を取り出した。(53) 警察官はピストルで犯人を撃った。(54) 僕は壁にある彼の絵を見付けた。(55) アメリカは月にロケットを打ち上げた。(56) 彼はわたしに顔を向けた。(57) 彼はあの紐を木に縛った。(58) 彼らはわたしの彼女に対する気持ちを知らない。(59) 彼らはわたしのために仕事を捜してくれる。

● KK7動詞型の後に名詞(句),前置詞 untuk と動詞(句)がつく。

BK7

主語 + KK7	名詞(句)	untuk + 動詞(句)
60 Dia menyadarkan	mereka	untuk bertanggung jawab kepada atasannya.
61 Kami mendapat	kehormatan	untuk mengemukakan pendapat.
62 AS meningkatkan	produksi	untuk mencukupi permintaan.

[訳] (60)彼は上司に対して責任を持つよう彼らに認識させた。(61)われわれは意見を述べられるという名誉を得た。(62)アメリカは需要を満たすために生産を上げた。

● KK8型では動詞の後に名詞(句)が二つつづく。本型の取る目的語の違いから KK8a と KK8b の二種類に分ける。KK8a では動詞の後に二つづく第一の名詞(句)が直接目的語となり,その後につづく第二の名詞(句)が目的補語となる。これに対して KK8b では第一の名詞(句)が間接目的語となり,第二の名詞(句)が直接目的語となる。また KK8b の第一の名詞(句)は生命のあるものでなければならない。

BK8

主語 + KK8a	名詞(句)	名詞(句)
63 Pak Tanaka menanamkan	anaknya	Tom
64 Mereka memanggil	saya	Har

主語 + KK8b	名詞(句)	名詞(句)
65 Dia mengirimkan	saya	buku.
66 Dia memberitahukan	orang tuanya	masalah itu.
67 Kakek itu memberikan	cucunya	boneka itu.
68 Ia sering menceritakan	saya	pengalamannya.

KK8b は KK6m に変換可能で,意味も同じである。KK8b の後につづく第一の名詞(句)は KK6m 型の前置詞 kepada の後につづく名詞(句)となり,第二の名詞(句)は KK6m の動詞の後の名詞(句)となる。(69)と(70)はそれぞれ(65)と(66)からの変換である。

69. Dia mengirimkan buku kepada saya.

70. Dia memberitahukan masalah itu kepada orang tuanya.

なお, KK8b の第一名詞の前には前置詞 kepada が入ることもある。KK8a は KK6m に変換不可能である。

[訳] (63)田中さんは子供にトムと名付ける。(64)彼らはわたしをハルと呼ぶ。(65)(69)彼はわたしに本を送ってくれた。(66)(70)彼はあのことを両親に知らせた。(67)おじいさんは孫に人形をあげた。(68)彼はよく自分の体験を話してくれる。

● KK9は目的語となる名詞(句)の後に節がつづく。名詞(句)は生命のあるものであり,節は bahwa などの関係詞によって導かれる。

BK9

主語 + KK9	名詞(句)	節
71 Dia meyakinkan	bossnya	bahwa itu benar.
72 Dia menasehati	temannya	supaya tidak bolos.
73 Dia menganjurkan	mereka	agar datang tepat pada waktunya.

[訳] (71) 彼はそれがただしと上司に確信させた。(72) 彼はさばらないよう友達にアドバイスした。(73) 彼は定刻にくるよう彼らに求めた。

● KK10では疑問節が目的語となる。

BK10

主語 + KK10	疑問節
74 Kami mengetahui	kapan terjadinya peristiwa itu.
75 Ia tak dapat memastikan	kapan mereka akan berangkat.
76 Mereka memperdebatkan	kemana seharusnya dia pergi.
77 Dia menanyakan	mengapa mereka tidak diturut sertakan.
78 Pak guru menjelaskan	kapan terjadinya peristiwa itu.
79 Kita harus menentukan	kapan ia boleh keluar

[訳] (74) われわれはいつその事件が起きたかを知っている。(75) 彼はいつ彼らが出発できるかを決められない。(76) 彼は彼がどこに行くべきかを討論した。(77) 彼はなぜ彼らが参加させないかを聞いた。(78) 先生はいつその事件が起きたかを説明した。(79) われわれはいつでられるかを決めなければならない。

- KK11は bahwa 節を目的語として取る動詞型である。

BK11

主語 + KK11	bahwa 節
80 Dia mengakui	bahwa ia jatuh cinta kepadamu.
81 Mereka menyangka	bahwa saya orang Jawa.
82 Dia mendengar	bahwa anda mengenal bali dengan baik.
83 Dia menganggap	bahwa soal itu beres.
84 Dokter itu memutuskan	bahwa pasien itu masuk rumah sakit.

[訳] (80) 彼は君を愛していることを認めた。(81) 彼らはわたしがジャワ人だと思っている。(82) 彼はあなたがバリをよく知っていることを聞いた。(83) 彼はあの問題が解決したものと判断した。(84) お医者さんはその患者さんが病院に入ることを決めた。

- KK12は、補語を伴わない動詞である。この型には, tidur(寝る)のような自動詞と、場合によっては目的語を取れる makan(食べる)のような自他動詞が含まれている。

BK12

主語 + KK12
85 Dia menangis.
86 Amat sedang makan.
87 Mereka bubar.
88 Pak guru datang.
89 Anak-anak berdiri.

[訳] (85) 彼は泣く。(86) アマッさんは食べている。(87) 彼らは解散する。(88) 先生がくる。(89) こどもたちは起立する。

補語を伴わない KK12に対して以下の動詞型は、補語/副詞的修飾語を伴う自動詞である。

- KK13は、補語として名詞を取る動詞型である。なお、例文(95)はこの型には入れない。(自動詞+名詞)ではあるが、この文の naik haji(巡礼に行く)は動詞+名詞と考えるよりは自動詞の熟語と扱うのが一般的である。したがって、例文(95)は BK12に属するものである。

BK13

主語 + KK13	名詞
90 Joni naik	sepeda.
91 Gelas itu berisi	air.
92 Peraturan ini berdasarkan	keputusan presiden.
93 Negara Indonesia berazaskan	ketuhanan.
94 Ini merupakan	langkah penting.
95 Dia naik	haji.

[訳] (90) ジョニさんは自転車にのる。(91) あのグラスの中に水が入っている。(92) この規定は大統領の決定に基づいている。(93) インドネシアは信仰を基礎としている。(94) これは大事なステップのようだ。

- KK14では、動詞の後に形容詞がつづく。この形容詞は結果を指示する主補語として用いられる。

BK14

主語 + KK14	形容詞
96 Dia kawin	muda.
97 Bunga ini berbau	harum.
98 Saya merasa	gembira.
99 Rumahnya bercat	putih.

[訳] (96)彼は若くして結婚した。(97)この花はいいにおいがする。(98)私は嬉しく思う。(99)彼の家は白いペンキで塗られている。

- KK15では、動詞の後に距離・量・価格・期間などを表す副詞的修飾語がつづく。

BK15

主語 + KK15	副詞的修飾語
100 Rumah itu berharga	1 milyar
101 Suhu udara naik	4 °C.
102 Dia dapat melompat	6 meter.
103 Temannya sudah menunggu	3 jam

[訳] (100)あの家は 10 億の値段がついている。(101)気温は 4 °C 上昇した。(102)彼は 6 メートル跳べる。(103)友達はまだ 3 時間も待った。

- 動詞の後に sebagai と名詞(句)がつづくのが KK16動詞型である。

BK16

主語 + KK16	sebagai + 名詞(句)
104 Mereka bekerja	sebagai penterjemah.
105 Ayah Ani terkenal	sebagai pelukis.
106 Dia berhasil	sebagai pemenang pertama.

[訳] (104)彼らは通訳者として働いている。(105)アニさんのお父さんは画家として有名である。(106)彼は優勝者として輝いた(成功した)。

- KK17では、動詞の後に動詞(句)がつづく。

BK17

主語 + KK17	動詞(句)
107 Ibu Suzuki datang	memanggil anaknya.
108 Dia tersenyum	melihat saya.
109 Dia terkejut	memdengar berita itu.

[訳] (107)鈴木さんは子供を呼びにきた。(108)彼はわたしをみて微笑んだ。(109)彼はあのニュースを聞いて驚いた。

- この型では KK18動詞の後に前置詞と名詞(句)がつづく。KK18はさらに前置詞によって KK18a ~ KK18r に分類する。以下の例文は其中の一部を示す。

BK18

主語 + KK18	前置詞 + 名詞(句)
110 Kami selalu teringat	akan orang tuanya.
111 Daerah itu terbagi	atas 2 bahagian.
112 Kota terendam	dalam air.
113 Suara itu terdengar	dari rumah sebelah.
114 Cincin itu terbuat	daripada emas.
115 Budi melempar	dengan granat.
116 Ia berkorban	demi keluarganya.
117 Mereka tinggal	di dalam gubuk.
118 Dia berburu	ke hutan setiap hari.
119 Murid itu bertahan	pada pendiriannya.
120 Ia selalu bertanya	tentang kakakmu.

[訳] (110) われわれは彼の両親をよく思い出す。(111) あの地域は二つに分かれている。(112) 町は水の中に沈んだ。(113) あの音は隣の家から聞こえた。(114) あの指輪は金から作られた。(115) ブディさんは手投弾を投げた。(116) 彼は家族のために犠牲となる。(117) 彼らは小屋の中に住んでいる。(118) 彼は毎日森に狩りにでかける。(119) 学生たちは自分たちの主張で頑張っている。(120) 彼はよくあなたのお姉さんについて聞いている。

● この型では、KK19の動詞の後に前置詞 untuk と動詞(句)がつづく。

BK19

主語 + KK19	untuk + 動詞(句)
121 Mereka berjanji	untuk tidak keluar besok.
122 Ibu setuju	untuk mengirimkannya sebuah televisi.

[訳] (121) 彼らは明日は出掛けないことを約束した。(122) お母さんは彼にテレビを贈ることに賛成した。

● KK20の型では、動詞の後に関係代名詞 bahwa の導く節がつづく。

BK20

主語 + KK20	bahwa 節
123 Ayah bilang	bahwa ada gempa bumi di Tokyo kemarin.
124 Andi mengerti	bahwa dia benar-benar menaruh perhatian kepadanya.
125 Mereka berkata	bahwa dia akan datang nanti.

[訳] (123) お父さんは昨日東京で地震があったと言った。(124) アンディさんは彼女が本当に思ってくれていると分かった。(125) 彼らは彼が後でくと言った。

● 疑問節が KK21の補語となる疑問節は mengapa, kapan, bagaimana 等の疑問詞で始まる節である。

BK21

主語 + KK21	疑問節
126 Dia bertanya	mengapa kakak belum datang.
127 Mereka bertanya	kapan dia akan tiba.
128 Guru bingung	kenapa uang itu bisa hilang.

[訳] (126) 彼はなぜお姉さんがまだこないかと聞いた。(127) 彼らはいつ彼が到着するかと聞いた。(128) 先生はなぜお金が消えたのか不思議に思っている。

● KK22では動詞の後に名詞(句),前置詞 kepada と名詞(句)がつづく。前置詞の後の名詞は生命のあるものでなければならない。

BK22

主語 + KK22	名詞	kepada + 名詞(句)
129 Ahmad jarang berkirim	surat	kepada orang tuanya.
130 Mereka berbalas	surat	kepada temannya.

[訳] (129) 彼はたまにしかご両親に手紙を送らない。(130) 彼らは友達に返事の手紙を送った。

3 文型

英語の文には動詞が必ず存在する。従って動詞型を知れば英語の文型を説明できることになる。日本語は文には必ずしも動詞が存在するとは限らないが、その代わり助動詞を利用している。インドネシア語の文は必ずしも動詞があるわけではなく、また日本語のように助動詞を利用することもない。つまりインドネシア語の文型は動詞型だけでは説明がつかないということになる。

131. Dia	guru.
(He/She)	(teacher)
132. Leni	cantik.
(Leni)	(pretty)
133. Pak Suzuki	ke Indonesia.
(Suzuki)	(to) (Indonesia)

[訳] (131) 彼は先生だ。(132) レニさんはきれいだ。(133) 鈴木さんはインドネシアに行った。

上に示した文例は皆正しいインドネシア語の文である。(131)と(132)の文は名詞の主語と名詞の述語からなっている。英語では be 動詞、日本語では助動詞「は」を利用する。(133)の場合は動詞が省略されている。この文を英語か日本語に訳したければ動詞が必要である。

インドネシア語の文型は第2章で説明した動詞型の文型と以下で述べる文型を合わせたものである。

● BK23は述部として名詞(句)を取るが、主語と述部の間には adalah/ialah が入ることもある。

BK23

主語	(adalah/ialah) + 名詞(句)
134 Orang itu	anak Gubernur.
135 Ayah temannya	dosen Universitas Indonesia.
136 Anak-anak itu	penduduk kota Medan.

[訳] (134) あの人は知事の息子だ。(135) 友達のお父さんはインドネシア大学の教授だ。(136) あの子供たちはメダンの市民だ。

● BK24は主語の後に前置詞句がつづく文型であるが、これは BK18の動詞を省いたものだと考えてもよい。

BK24

主語	前置詞	名詞(句)
137 Saya	dari	Sumatra Utara.
138 Cincin ini	untuk	kamu.
139 Anak-anak itu	dengan	abangnya.

[訳] (137) わたしは北スマトラから(来た)。(138) この指輪は君に(買ってあげた)。(139) 子供たちは兄さんと(一緒にいる)。

● BK25は述部として形容詞(句)を取る文型である。

BK25

主語	形容詞(句)
140 Pakaianya	sangat sederhana.
141 Rumah Pak Tanaka	megah.
142 Mukanya	pucat.

[訳] (140) 彼女の服はたいへん簡素だ。(142) 田中さんの家は立派だ。(142) 彼の顔色は青ざめた。

● BK26は述部として形容詞と名詞を持つ。

BK26

主語	形容詞(句)	形容詞	名詞
143 Dia		sakit (痛い)	kepala. (頭)
144. Orang itu		besar (大きい)	kepala. (頭)
145. Wanita itu		panjang (長い)	lidah. (舌)

[訳] (143) 彼は頭が痛い。(144) あの人は生意気だ。(145) あの女はおしゃべりだ。

ただし、(144)と(145)はこの文型に入れない。besar kepala(生意気)と panjang lidah(おしゃべり)はもうはや分けることのできない語であり、名詞の熟語として処理する。従って(144)と(145)は(BK23)型に入る。

● BK27は述部として形容詞につづいて動詞(句)が並ぶ文型である。動詞(句)の前に前置詞 untuk が入ることもある。

BK27

主語	形容詞(句)	(untuk)+動詞(句)
146 Gadis itu	cocok	untuk menarik Tari payung.
147 Dia	berani	makan ikan mentah.
148 Ibunya	suka	berjalan ke luar negeri.

[訳] (146) あの女の子は傘踊りをするのに似合う。(147) 彼は生魚を食べる勇気がある。(148) お母さんは海外旅行が好きだ。

● 述部として形容詞の後に bahwa 節がつづく文型は BK28 である。

BK28

主語	形容詞(句)	bahwa 節
149 Dokter itu	puas	bahwa pasiennya telah sembuh.
150 Dia	gembira	bahwa anaknya lulus ujian.
151 Pemerintah	kecewa	bahwa banyak pejabat yang korupsi.

[訳] (149) あのお医者さんは患者の病気が直ったことを喜んでいる。(150) 彼は子供が試験に合格したことを喜んでいる。(151) 政府は多くの役職が不正をしていることに失望している。

● BK29は単語 ADA(存在を表す)を先頭に名詞(句)がつづく文型である。

BK29

	Ada	名詞(句)
152	Ada	kecelakaan mobil kemarin.
153	Ada	gempa bumi terjadi di Tokyo.

[訳] (152) 昨日事故があった。(153) 東京で地震が起きた。

4 おわりに

本稿はインドネシア語の文型を 29 パターンの分類について記述した。これらの文型を決めるために参考にしたインドネシア語の文は約 3000 文である。このうち教科書から得られた文は約 1500 文が含まれている。残りの文は参考書と雑誌から取ったものである。

記述した文型は基礎的なパターンだけで止まっている。名詞句をはじめ、形容詞句、動詞周辺に付加するアスペクトマーカなどの記述については触れていない。

これらの文型を利用したインドネシア語の構文解析はすでにインプリメントされている。これからもっと多くの例文を集め、これらの文型を改善していきたいと考えている。

参 考 文 献

- [1] Soenjono Dardjowidjojo. *Indonesian Syntax*. PhD thesis, Georgetown University, 1967.
- [2] DR.H.G.Tarigan *Pengajaran KOSAKATA*. penerbit ANGKASA bandung, 1985.
- [3] Philip N.Johnson-Laird George A. Miller. *Language and Perception*. Harvard University Press, 1976.
- [4] Jos Daniel Parera *Bidang Sintaksis*. Penerbit Nusa Indah, 1982.
- [5] Samsuri. *Tata Kalimat BAHASA INDONESIA*. Sastra Hudaya, 1982.
- [6] Prof.Drs.S.Wojowasito. *Pengantar Sintaksis Indonesia*. Penerbit Sintha Dharma, Bandung, 1976.
- [7] W.J.S.poerwadarminta. *Kamus Umum Bahasa Indonesia*. Balai Pustaka, 1976.
- [8] F.X.Surana dkk. *Himpunan Materi TATA BAHASA I,II,III*. Penerbit Tiga Serangkai, 1983.
- [9] Ahmad Zaini Nasution dkk. *PELAJARAN TATA BAHASA I,II,III*. Penerbit MONORA, 1979.
- [10] A.S.Hornby. *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English Third Edition*. The English Language Book Society and Oxford University Press.
- [11] M.Ramlan. *MORFOLOGI*. UP.Karyono Yogyakarta,1980.
- [12] M.Ramlan. *SINTAKSIS*. UP.Karyono Yogyakarta,1981.